

A

愛知県内に現存の「交通公園」「交通児童遊園」等の有効活用 約14施設(内2施設が指定管理) ※ 検索出来た施設の

課題： 自転車の交通安全教育に向けた施設と教育実施主体との連携

- 1、 名古屋市 交通公園(大高緑地) 名古屋市緑区大高町字高山1-1 052-622-2281 9:00~16:30 定休日:月曜日、年末年始(12月29日~1月3日)
- 2、 江南市 交通児童遊園 江南市木賀町大門19 0587-54-1732 午前9時から午後5時 休園日:年末年始(12月29日~翌年1月4日)
- 3、 蟹江町 交通児童遊園(今川西公園) 蟹江町今西一丁目27番地 0567-95-1111 利用可能日:土曜日、日曜日、祝日 10時~16時
- 4、 安城市 交通公園(錦公園) 安城市錦町123番 0566-71-2244 利用可能日等は問い合わせ要
- 5、 刈谷市 交通児童遊園(刈谷市交通公園) 刈谷市神田町3-47-1 0566-22-9371 9:00~16:30 定休日:水曜、年末年始(12月29日~1月3日)
- 6、 岡崎市 交通広場(南公園) 岡崎市若松町字萱林1番地1 0564-51-4426 9時から(16時)17時 定休日:木曜日、12月29日から1月3日
- 7、 豊田市 交通安全学習センター(指定管理) 豊田市池田町小山田494番地24 0565-88-5055 9:00~17:00 休館日:月曜日、年末年始
- 8、 豊橋市 交通児童館(指定管理) 豊橋市向山町字池下35番地(0532)61-5818 月曜休館 年末年始
- 9、 豊川市 交通児童遊園 豊川市新道町2丁目42番地 0533-85-6127 休園日:火曜日、祝日の翌日、年末年始
- 10、 田原市 交通公園 田原市谷熊町鍛冶屋前1-1 0531-23-3504 利用可能日:土曜日、日曜日、祝日
- 11、 東郷町 交通児童遊園 東郷町大字春木字道下101番地1 0561-56-0747 定休日:火曜日 12月29日から1月3日
- 12、 長久手市 交通児童遊園 長久手市城屋敷410番地 0561-62-5190 火~金 13:00~16:45 土・日 9:00~16:45 休園日:月曜日・祝日、年末年始
- 13、 瀬戸市 交通児童遊園/せとクルランド 瀬戸市上松山町2丁目466番地(市民公園内) 0561-48-2350 休館日:火曜日、年末年始
- 14、 春日井市 交通児童遊園 春日井市弥生町2-70 0568-81-1301 午前9時~午後6時 定休日:月曜日 年末年始(12月29日から1月3日)

B

JAF 日本自動車連盟 愛知支部の新たな GIGA スクール構想を視野にいたした取組 紹介 ※ 裏面の新聞記事をご覧ください

8月に、JAF 愛知支部 事業課環境係の係長 永崎 竜也様、並びに、取組担当 山崎 剛司様より取組についてのお話を直接伺いました。

事業名 : 「コロナ禍の中でもできる 小学生・中学生向け 交通安全啓発」

内容 : 各自治体の小中学校へのリモートによる JAF 交通安全講習会

情報共有先 : 愛知県教育委員会保健体育課(6/21 発信)・愛知県下各自治体の教育委員会

講習機関 : 2021年7月~2022年3月(次年度も永続的に実施予定)

必要環境 : インターネット環境およびモニター付きの教室、タブレット

講習受付先 : JAF 愛知支部 事業課 (ご担当者: 永崎・山崎・松本 ご連絡先 052-872-3867)

C

新聞記事 紹介

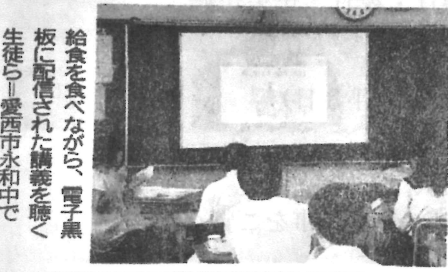
※ 両記事共に、2021年 7月15日付 中日新聞 愛知総合紙面 掲載

様々な民間による支援の取組を、いかにして、各学校現場が利用の検討を行えるように効率的な周知ができるか

県立高校以外の、愛知県の小中学校の教職員向けの「交通安全指導者研修」(各クラスの担任向け)の検討も必要ではないか

JAF 愛知支部が小中生向けに講義 リモート配信 交通安全教育 県内小中学校対象・一校当たり 5~10 日間・集中的かつ短時間

JAF 愛知支部が小中生向けに講義 リモート配信
日本自動車連盟(JAF) 愛知支部(名古屋)は十二日、県内の小中学校を対象に、一校当たり五日間、各教室に交通ルールなどに関する講義をリモート配信し、集中的かつ短時間で交通安全教育をする取り組みを始めた。

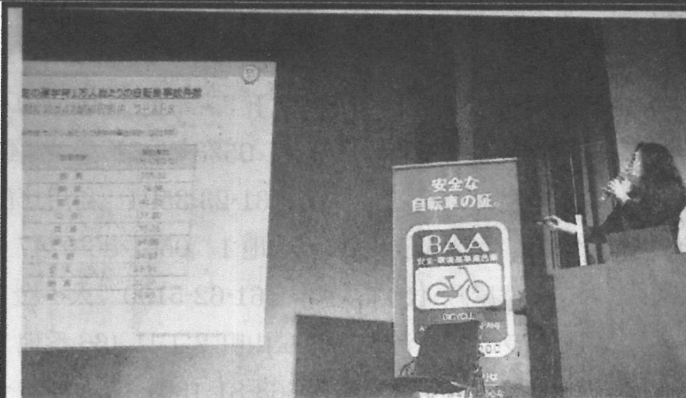


給食を食べながら、電子黒板に配信された講義を聴く生徒ら。愛西市永和中で

は、愛西市永和中で全校生徒約二百五十人を対象に給食の時間を活用。同支部事業課の山崎剛司さん(五)が講師となり、各教室の電子黒板を通じて、自転車に関する講義を別室から配信した。自転車は車両扱いで、原則として車道を走る必要があるといった基礎知識を伝えた。

意識を高めていきたい」と語った。

自転車の事故防止へ 高校生に安全指導を 東郷で教員ら研修会 県立高校教員対象・「交通安全指導者研修会」・県教委主催・6/25



自転車の事故防止へ 高校生に安全指導を 東郷で教員ら研修会
県立高校などの教員を対象とした「交通安全指導者研修会」(県教委主催)が六月二十五日、東郷町の県総合教育センターであり、約百八十人がルール徹底の必要性などを学んだ。写真。

講師は一般社団法人自転車協会(東京)の「自転車安全利用促進委員会」委員で自転車ジャーナリストの遠藤まさ子さん。指導成功事例を紹介しながら「生徒が事故を自分ごとと認識するには、なぜ交通ルールが必要なのか考えさせることが大切」などと述べた。豊橋西高の林泰盛教諭は「生徒主体で保育園で交通安全教室を開催したり、マナーアップビデオを作ったりする取り組みは参考になった」と話した。